



令和 6 年 8 月 27 日

報道機関 各位

【9/6】ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型) 総括シンポジウム
山陰におけるダイバーシティ推進を検証し、今後も広く普及を図ります

◆本件のポイント！

- ・山陰におけるダイバーシティ推進について提案
- ・基調講演(2件)よりこれからのダイバーシティの取組を学ぶ

◆本件の概要

2019年度に採択されたダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)が最終年度を迎えました。これまで代表機関である島根大学と、連携機関である島根県立大学、松江工業高等専門学校、米子工業高等専門学校が連携して行ってきた事業報告を行います。また、基調講演に日本赤十字社 常任理事 板東久美子氏と株式会社ベネッセホールディングス 常務執行役員 成島由美氏をお招きし、板東氏には「地方大学におけるダイバーシティ推進」、成島氏には「社会で活躍する理系女子を増やすために」というテーマでご講演いただきます。

◆概要内容

日時： 令和 6 年 9 月 6 日(金)14:30～17:15

会場： 島根大学 松江キャンパス 大学ホール ※オンラインでの参加もあります

事前申込： <https://forms.office.com/r/RAc5fvsmus>

申込締切： 9 月 3 日(火) ※参加申込いただいた方のみ、後日配信あり

主催： SAN' IN ダイバーシティ推進ネットワーク

ダイバーシティ推進室 HP もご覧ください

<https://diversity.shimane-u.ac.jp/news/2024080700016/>



◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学 人事労務課 ダイバーシティ推進室(青木・新宮)

TEL: 0852-32-6018

Email: kyodo-sankaku[at]edu.shimane-u.ac.jp

【添付資料： ■あり(1 枚) なし 】



ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)
SAN'IN ダイバーシティ推進ネットワーク



ダイバーシティ 研究環境実現 イニシアティブ 牽引型 総括シンポジウム

2019年度に採択された標記プログラムは最終年度を迎えました。

これまで代表機関である島根大学と、連携機関である島根県立大学、松江工業高等専門学校、米子工業高等専門学校が連携して「ダイバーシティ研究環境整備強化」、「女性教員の積極採用と上位職登用」、「女性研究者の裾野拡大」、そして「女性研究リーダー育成」の4本の柱をもとに様々な取組を進めて参りました。

本シンポジウムは、同プログラムの最終総括として、これまでの取組の有効性と持続性を高め、さらに広く普及を図ることを目的として開催します。

対象：大学・高専教職員、自治体、企業、学生、その他関心のある方



令和6年 **9月6日** (金)
14:30～17:15

参加費
無料

要事前申込

お申込みは
こちら



<https://forms.office.com/r/RAC5fvsmsus>

島根大学 松江キャンパス
大学ホール

ハイブリッド方式 (zoom利用)
後日配信有り

参加申込期限 | 令和6年9月3日(火)

●基調講演 講師

日本赤十字社



常任理事 板東久美子 氏

株式会社ベネッセ
ホールディングス



常務執行役員 成島 由美 氏

[プログラム]

- 14:30 ● 開会挨拶 島根大学長 大谷 浩
- 14:40 ● 来賓挨拶 文部科学省 科学技術・学術政策局人材政策課
人材政策推進室長 高見 暁子 氏
島根県副知事 石原恵利子 氏
日本赤十字社常任理事 板東久美子 氏
- 14:50 ● 来賓挨拶
- 15:05 ● 基調講演① 日本赤十字社常任理事 板東久美子 氏
地方大学におけるダイバーシティ推進
- 15:45 ● 休 憩 (10分)
- 15:55 ● 基調講演② 株式会社ベネッセホールディングス常務執行役員 成島 由美 氏
**社会で活躍する理系女子を増やすために
～体験から「憧れ」をつくる 学校、企業発の事例紹介～**
- 16:35 ● 事業報告 島根大学副学長 河野 美江
島根大学次世代たたら協創センター准教授 平山 尚美
島根県立大学副学長 石橋 照子
松江工業高等専門学校教授 高尾 学
米子工業高等専門学校教授 宮田 仁志
- 17:05 ● 講 評 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
プログラム主管 山村 康子 氏
- 17:10 ● 閉会挨拶 島根大学理事(内部統制担当) 金山 富美
- 17:15 ● 閉 会